

JFEシビル 京葉ガスの研修施設竣工

メタルビル採用 コスト削減、工期短縮

JFEシビル(藤井善英社長)が、京葉都市開発のもとで設計施工した、京葉ガスの緊急保安研修センターが4月に竣工した。同社のシステム建築のメタルビルで2棟建設し、独自工法の「いちいち基礎工法」も採用された。メタルビルの採用により、コスト削減と工期短縮が実現できた。



緊急保安研修センターは、集合住宅・店舗におけるガス漏えいを想定した初動措置訓練施設。研修棟は5階建の延床面積約2100平方メートルの鉄骨造(S造)で教室、漏えい修理ピット、危険体感施設、ガバナ実習室、事故事例研究室、事務室で使用する。

エマージエンスクール棟はS造3階建て、延床面積約660平方メートル、屋外実習棟はS造平屋の延床面積約380平方メートルで、道路でのガス漏えい現場を想定し、調査・掘削・修理の技術の習得を目的とした施設。「いちいち基礎工法」は、基礎、杭と柱を二体化させたメタルビルの基礎工法。基礎梁と杭本数を減らせるため、コンパクトな基礎が実現できる。短工期化で、施工費が削減できるとのメリットがある。